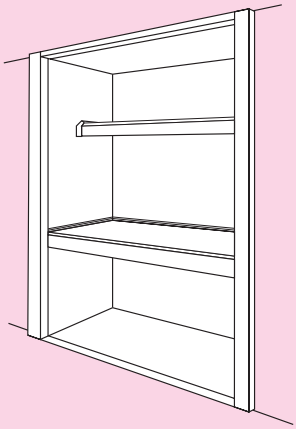
DAIKEN

施工説明書・取扱説明書

施工業者様用・お施主様用

※この説明書には棚板の取扱い方法が記載されています。
必ずお施主様にこの説明書をお渡しください。

押入棚板・押入枕棚板セットRⅢ



危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠警告

取扱を誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意

取扱を誤った場合、施工者または使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

⚠警告

- 取り付け位置には十分な下地を準備してください。十分な下地の無い所に施工されますと、脱落等によりケガをする恐れがあります。
- 壁への固定は、同梱のビスで正しい位置に確実におこなってください。
- 棚板に座ったり、飛び乗ったり、ぶら下がったり、体重をかけないでください。落下、破損等によりケガをする恐れがあります。

⚠注意

- 立てかけ保管はしないでください。保管する時は水平な場所に平積みにしてください。
- 水・湿気に注意してください。製品が濡れるとふくれや変形の原因となります。
- 高温となる場所に置かないでください。反りや変形の原因となり、正しく施工できなくなる恐れがあります。
- 棚板は一般住宅室内専用の製品です。屋外には使用しないでください。
- 改造はしないでください。製品の強度が失われる恐れがあります。

大建工業株式会社

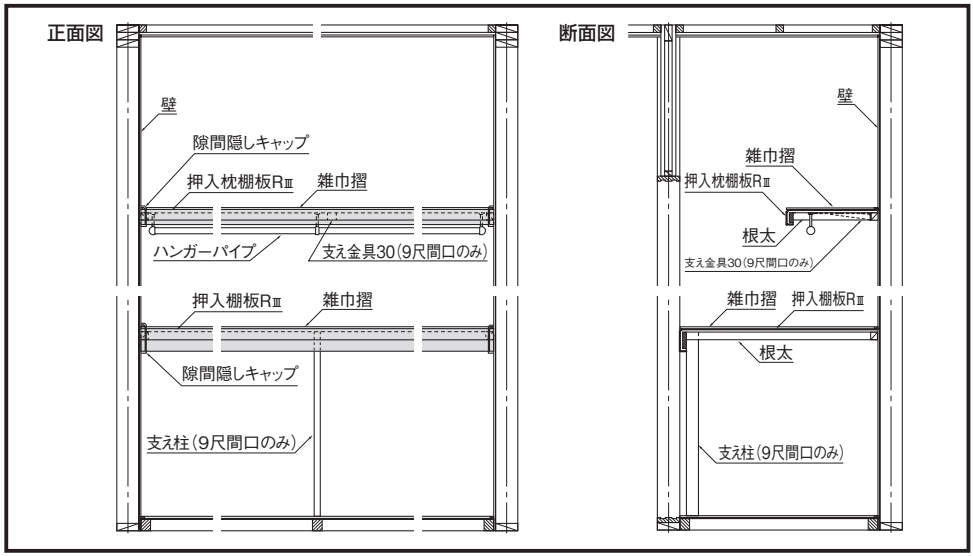
タナイタ R3 ／ N4

施　工　説　明　書

同梱部材リスト

部材・部品名	間口	間口×奥行×框高×厚み	同梱部品								
			棚板本体	根太	雑巾摺	隙間部材	ビスセット	L金具	隅木	支え柱	支え金具
押入棚板セット	3尺間口　尺モジュール	900×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
	4.5尺間口　尺モジュール	1350×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
	6尺間口　尺モジュール	1810×810×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
	9尺間口　尺モジュール	2700×810×90×t15	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本	1本	
	3尺間口　メーターモジュール	960×915×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
	4.5尺間口　メーターモジュール	1430×915×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
	6尺間口　メーターモジュール	1930×915×90×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個	1本		
押入枕棚板セット	3尺間口　尺モジュール	900×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			
	4.5尺間口　尺モジュール	1350×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			
	6尺間口　尺モジュール	1810×375×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			
	9尺間口　尺モジュール	2700×375×60×t15	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			1個
	3尺間口　メーターモジュール	960×415×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			
	4.5尺間口　メーターモジュール	1430×415×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			
	6尺間口　メーターモジュール	1930×415×60×t12	1枚	後1、横2	後1、横2	左右 各1	1袋	2個			

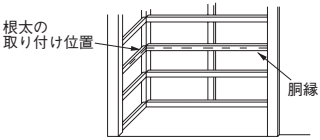
各部名称



施工前の準備

1　下地の施工

1.根太の取り付け位置に胴縁を取り付けてください。
2.壁を仕上げてください。

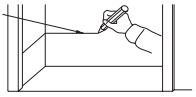


⚠警告

○ 棚板の荷重は壁で支えます。下地が充分でないと、落下・脱落等でケガをする恐れがあります。

2　水準線を引く

1.根太の取り付け位置に水準線を引いてください。



施工手順　<1～2は棚板・枕棚板共通>

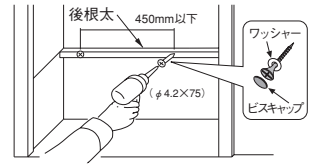
1 後根太の取り付け

1.水準線に合わせて、同梱のビスで後根太を取り付けてください。

⚠注意

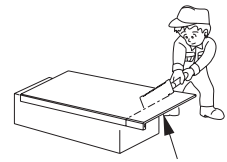
- ビスの間隔は450mm以下にしてください。
- 後根太を必ず先に取り付けてください。

2.ビスキャップを取り付けてください。



2 棚板・枕棚板の切断

1.押入内寸法に対し「幅マイナス4mm、奥行きマイナス3mm」を目安に切断してください。製品に貼付の「ご注意シール」が残るように切断してください。

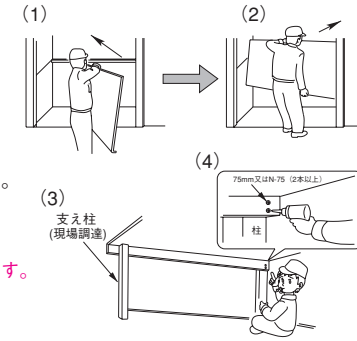


（棚板→Ⓐへ　　枕棚板→Ⓑへ）

Ⓐ<棚板>

3 棚板の設置≪柱がある場合≫

1.右図の(1)(2)の手順で棚板を納めてください。
2.棚板を後根太にのせ、右図(3)のように支え柱等で水準線に合わせて仮固定してください。
3.棚板の前框部を75mm以上の釘またはビスを2本以上使用し、右図(4)のように柱に固定してください。
4.右図(5)のように、横根太を同梱のビスで取り付けてください。



⚠警告

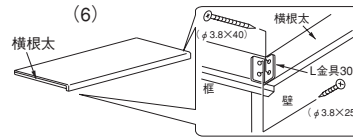
- 棚板を納める際は落下等の危険のないよう行ってください。
- 框を柱に固定しないと強度不足で棚板が破損する恐れがあります。

⚠注意

- 横根太取り付けのビス間隔は、450mm以下にしてください。

棚板の設置≪柱がない場合≫

1.水準線に合わせて横根太を取り付けてください。(右図(5))
2.右図(1)(2)を参考に、横根太と後根太に棚板をのせてください。
3.右図(6)のように、同梱のL金具を使用し、棚板の前框と横根太を固定してください。



⚠警告

- 棚板の前框部と横根太は、同梱のL金具で確実に固定してください。

⚠注意

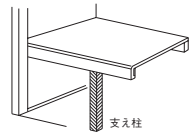
- 横根太の取り付けビス間隔は450mm以下にしてください。

≪9尺間の場合≫

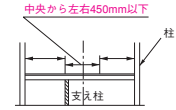
支え柱を右図のように取り付けてください。

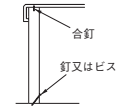
⚠警告

- 支え柱の取り付け位置は中央から左右450mm以下としてください。



※支え柱取付け範囲



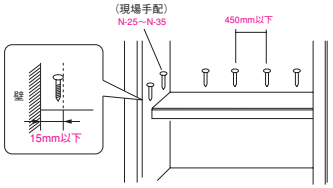


4 棚板を固定

1.右図を参考に、棚板と根太を固定してください。

⚠注意

- ビス（現場手配）の間隔は450mm以下にしてください。

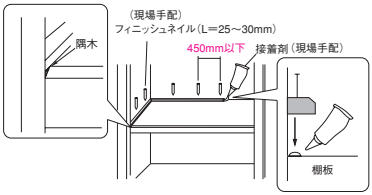


5 雑巾摺，隅木の取り付け

1.右図を参考に、取り付け位置に樹脂部品に対応した酢ビ系接着剤を塗布してください。
2.フィニッシュネイル（L＝25～30mm）を用いて、隙間、ビスを隠すように雑巾摺を取り付けてください。
3.真壁の場合（柱がある場合）、隅木を取り付けます。隅木は雑巾摺の幅（15mm）に合わせて切断してください。

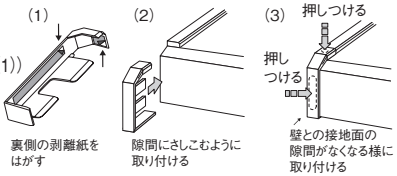
⚠注意

- フィニッシュネイルの頭が飛び出さないように施工してください。



6 隙間隠し部材の取り付け

1.隙間隠し部材裏面の両面テープの剥離紙をはがしてください。（右図(1)）
2.棚板前框と壁の間の隙間を隠すように部材を壁に接した状態で取り付けてください。（右図(2)）
3.右図(3)の点線の箇所を押しつけ、固定してください。

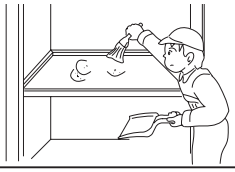


7 施工終了後の清掃，養生

1.ホウキ、固くしぼった雑巾等で掃除してください。
2.梱包用ダンボールなどを用いて養生してください。

⚠注意

- シンナー等の溶剤は使用しないでください。
- ササクレ・ビス等の飛び出しがないか確認してください。



Ⓑ＜枕棚板＞

3 枕棚板の設置

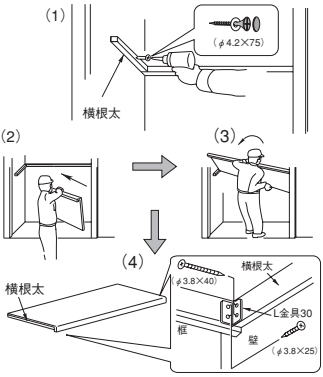
1.水準線に合わせて横根太を取り付けてください。（右図(1)）
2.右図(2)(3)を参考に、横根太と後根太に枕棚板をのせてください。
3.右図(4)のように、同梱のL金具を使用し、枕棚板の前框と横根太を固定してください。

⚠警告

- 棚板の前框と横根太は、同梱のL金具で確実に固定してください。

⚠注意

- 横根太の取り付けビス間隔は450mm以下にしてください。

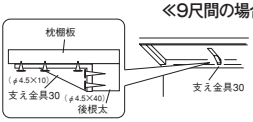


≪9尺間の場合≫

1.右図のように、枕棚板の下面に合わせて支え金具を取り付けてください。

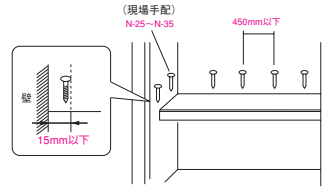
⚠注意

- 必ず後根太の中央に取り付けてください。



4 枕棚板を固定

1.右図を参考に、枕棚板と根太を固定してください。

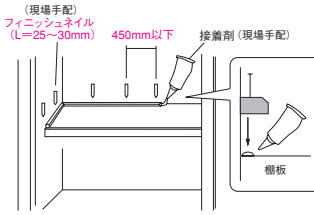


⚠注意

- ビス（現場手配）の間隔は450mm以下にしてください。

5 雑巾摺の取り付け

1.右図を参考に、取り付け位置に樹脂部品に対応した酢ビ系接着剤を塗布してください。
2.フィニッシュネイル（L＝25～30mm）を用いて、隙間、ビスを隠すように雑巾摺を取り付けてください。

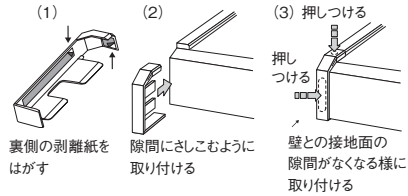


⚠注意

- フィニッシュネイルの頭が飛び出さないように施工してください。

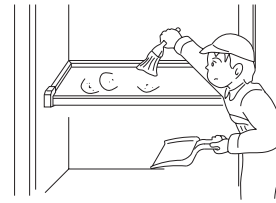
6 隙間隠し部材の取り付け

1.隙間隠し部材裏面の両面テープの剥離紙をはがしてください。（右図(1)）
2.棚板前框と壁の間の隙間を隠すように部材を壁に接した状態で取り付けてください。（右図(2)）
3.右図(3)の点線の箇所を押しつけ、固定してください。



7 施工終了後の清掃，養生

1.ホウキ、固くしぼった雑巾等で掃除してください。
2.梱包用ダンボールなどを用いて養生してください。



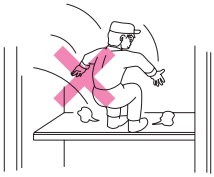
⚠注意

- シンナー等の溶剤は使用しないでください。
- ササクレ・ビス等の飛び出しがないか確認してください。

取　扱　説　明　書

お施主様に必ずお渡しください

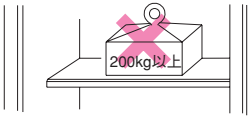
安全上のご注意



• 棚板に乗ったり、ぶら下がったり、飛び乗ったりしないでください。
けがや破損の原因となります。

• 無理な力をかけないでください。変形や破損の原因となり、
けがをする恐れがあります。

耐荷重　棚板：200kg以内、枕棚板：70kg以内
（集中荷重は避けてください）



• 自分で分解や修理、改造はしないでください。
修理・メンテナンスは購入された工務店や販売店にご相談ください。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

押入棚板セットRⅢ
押入枕棚板セットRⅢ

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について　●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談
DAIKENお客様センター
0120-787-505
（フリーダイヤル）
● 携帯・PHSからは
TEL 0570-064-876へお電話ください。
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談
ダイケンホーム＆サービス株式会社
06-4257-3121
● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は
DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
http://www.daiken.jp/service/
DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社
DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/